

(案)

川まち審第 号
平成 27 年 月 日

川越市長 川 合 善 明 様

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会
会長 立 原 雅 夫

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略について（答申）

平成 27 年 7 月 24 日付け川政発第 108 号をもって諮問のありました、川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定につきましては、これまで延べ 6 回にわたり会議を開催し、慎重に審議を重ねてきました。

その結果、川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略はおおむね妥当であると判断いたしましたので、次のとおり答申いたします。

貴職におかれましては、この答申の趣旨を尊重し、本戦略の実施にあたり積極的に取り組まれますよう要望いたします。

記

平成 27 年 8 月に 35 万人を達成した本市の人口は、平成 30 年を境に減少に向かうことが予想されています。人口減少問題は、国のみならず本市においても最優先で取り組まなければならない喫緊の課題となっており、本戦略を第一歩として、人口減少の進行や地域経済の規模が縮小傾向に向かうことを克服していく必要があります。

今後のまちづくりの中心を担うのは若者です。若者が、地域に根ざした生活を送ることができるしくみづくりを進めるとともに、子どもを産み育てることに希望をもつことができる環境を整え、「住み続けたいまち」、「住んでみたいまち」として選ばれるまちを目指して努力されることを期待します。

また、本市では、商業・工業が高水準で発展しており、歴史的遺産を活かした観光も強みとなっています。農業の 6 次産業化を進めるなど、産業間での新たな連携によりさらなる活力を生み出し、より強固な産業構造を構築することが必要です。

本戦略の取組を推進するにあたっては、平成 28 年度から始まる第四次川越市総合計画と連携し、地方創生に取り組むことを川越市発展の好機と捉え、「し

ごと」が「ひと」を呼び、「まち」を活気づかせる好循環を生み出すことで、若い世代が安心して子育てすることができ、また、若者から高齢者まで幅広い世代が活躍できるまちとして発展することを期待します。

最後に、戦略の推進にあたり、本答申の内容を踏まえ、計画的、効果的に展開しつつ、産官学金労言などの幅広い分野と連携・協働を図りながら一丸となって、確実に実施していくことを要望します。